

# プリムラ百七号もくじ

In a Shot 雪崩写真二点(フンザ周辺の山旅)・・・・・・岡 孝雄 二頁
百七号のお題 あこがれの人・・・・・・・・・・・四頁
金峰山山麓・甲斐荒川伝丈沢・・・・・・・・・・初鹿 裕康 五頁
西穂丸山 (2,452m) @ 北アルプス子連れハイク No.45・市瀬 江利子 七頁
2017 夏休み 南北アルプス縦走・・・・・・・・・北原 浩平 一○頁
平成 29 年前半のフリークライミング報告・・・・・佐藤 正俊 一四頁
景色を見ながら!木更津トライアスロン 2017・・・・初鹿 裕康 二二頁
復活! (しなくていい?) なほみさんの
いつまでやってんだクライミング日記。・・・・水野 奈保美 二四頁
山行一覧 (一) 2017年6月9日~7月17日・・・・・・・ニ六頁
山行一覧 (二) 2017年7月22日~9月9日······二七頁
編後記ですよ・・・・・・・・・・・・・・・・・ニ八頁

### プリムラ 百七号 In a shot

雪崩写真 2 点 (フンザ周辺の山旅) 岡 孝雄 2017.7 月撮影

2017.7.24~8.15 迄の 23 日間、パキスタン北西部フンザ周辺の、バツウーラ山群を中心に撮影トレッキングに行って来ました。前半は5名のツアー旅でしたが、後半は昨年行ってきたラシュファリピークの撮影敵地ハムダールや、急峻な渓谷

の奥にあるシムシャール村への単独での10日間の旅でした。(勿論ガイドやポータは同行しました)憧れていたヒスパー山群を何とか撮影できない物か?とこの山域を選んだのですが、残念ながら距離は遠く、まして谷側からの撮影では山本体を大きく撮影することはできませんでした。やはりBCまで入らないと無理だとつくづく感じました。人気のある他の地域と異なり、名高いピークは少なかったですが、多くの個性的なピーク

に接することが出来ました。

それなりの長期間山に入っていたわけですが、写真的には満足のいく結果にはなりませんでした。バツゥーラ・ウオールと呼ばれる大きい氷雪壁の3ピーク等期待をしていたものですが、壁が東面を向いているため、朝の光

が正面から差し込んで立体感に乏しい山容しか 見せてもらえませんでした。写真撮影に限定した 計画でないと無理だと改めて感じました。

こんな中で拾いものともいえる 2 点の写真を会報に掲載していただきます。①フンザを代表する「ウルタルピーク」町の裏手に大きくそびえている。飲料水を含め田畑に貴重な水を提供し、人々の生活には無くてはならない存在だ。又「長谷川





恒夫の愛したピーク」でもあり日本人にはなじみのあるものとなっています。撮影敵地の台地に登る途中の町はずれでヒョイと上を見ると、大きな雪煙を揚げながら雪崩た。音は後になって聞こえた。咄嗟に首にぶら下げたサブカメラで10カット位撮影できた。今回で唯一物にできる写真である。②バツゥーラ氷河を遡っていく途中 | 峰より雪崩た。撮影チャンスは不意にやってくるものだ。画

面の中に動きを与える物には雲や水、動物など多くあるが、力強さと生きている感じを感じさせる 雪崩を取り入れることが出来て良かった。残念な がら光が少なくおとなしい雪崩となってしまった。

おいそれと希望や願望をかなえさせてはもらえない物だと、70才を前にして改めて思い知らされた山旅でした。

# る 公号のお題

# あこがれの人

**昔は** 7 ルテルボナッティやライン ホルトメスナーだったけど、 最近は平山ユージさんかな。でも今、一番気になるのは、背中の筋肉が驚異的な TWALL の女性インストラクター三上さんかもしれません。(M.S)

えーのなるところに連れてつてくれました。3月の滝沢リッジやV字右はなかなか恐ろしかった。正月の源次郎尾根はいまだに登れてないけど、ねえ。でも、冬の劒はとても美しい。鶴なら恩返しするところですが、鶴でなく、鷺ですから。残念。(小ネタか…)H)

大西良 治様ですもう好きすぎて至 近距離で会えてもかたまってしまい目をあわすことも話すこともできませんっ(JKか!)って、憧れじゃないかなこれはw憧れのお方はなんといっても草野俊達・寺島由彦様ですね~新手ではアレックスオーノルド様!あとは…(M野)

やはり、ラインホルト・メスナーかな。 もちろん、会ったことも見たこともない人だけども。山岳分野における実績だけでなく、彼の著作物から感じられる人柄がいい。「ガイア・シンフォニー」という映画に登場したときも印象的だったし、ナンガパルパットの本の表紙写真、山頂でたばこを吸っているカットがとてもカッコいい。スキーヤーではシュテンマルク、あの優雅なターンが芸術的だった。(kita)

**業性しい** お題です。山野井泰史に憧れていたので、久々に山野井通信を覗いてみたら、文面がちょっと寂しげで、なんとなく寂しくなってしまった。(eriko)

アンジャンス、エットレ・カスティオニ。戦前にドロミテで数多くのルートを開拓したクライマーです。ガイドブックで、いいなと思えるルートを調べてみると、彼らの名前が初登者として出てくる。まだ彼らのルートの中では、容易なルートしか登れていないが、もう少しレベルアップしてトライしてみたい。(H.S)

### 金峰山山麓。甲斐荒川伝丈沢

### 初鹿裕康



デット

#### 【コースタイム】

7/15 晴 駐車場(9:39) - 大滝(10:24) - 二股B.P(13:53) 7/16晴 (6:58) - 上の大滝(7:49) - 稜線(10:52) - 下降点(11:38) - B.P(13:50)

7/17晴 (7:48) - 駐車場(10:30) 【パーティ】初鹿 裕康、楠井 一平

前回他のメンバーと来て道に迷い、取付までで終了してしまった荒川伝丈沢に2泊3日で出かけた。荒川ダムの道路工事で大迂回して黒平、登山口。ここにたどり着くまでにイノシシ、イタチ(?)、鹿を目撃。なんて山深いんだ。駐車場は斜めなのでちょっと下の広場で宴会後、就寝。

翌、駐車場に行ってみると山梨ナンバーの車が1台、釣りか?ここから林道を辿り大きくカーブするところから入渓。すぐに対岸に渡ると立派な踏跡があるので、それを辿って、7、8個ある堰堤を巻く。何のための堰堤なんだろう?不思議。

堰堤を越え沢に入っていくと平凡な流れが続くが、時折魚影が見える。それも結構大きな感じである。大滝は右の踏み跡をたどっていくが荷物が

重いのでちょっと嫌な感じ。一旦仕切りなおしてロープを出して、踏み跡をトラバースして上の灌木でビレイ。途中針金とかシュリンゲがある。まぁ、ロープを着けてしまえば、なんてことのない踏み跡ではある。ここの上からは時折ナメがあったりして楽しい。しかしウシアブ(メジロではない)が纏わりついてきてうっとうしい。東北でないのにアブはないだろ~。しばらく行くと二股。右俣のちょっと先の高台が絶好のテン場だった。携帯は通じず。途中 GPS も機能しなかった。

アブやハエがうっとうしいので、テントに入ってしばらく昼寝としゃれ込む。5時を過ぎるとアブもいなくなり快適。

早速釣りに行くが、今シーズン初めで慣れていないので糸を木にひっかけたりする。たぶん魚留の滝の滝つぼで釣る。早速根がかりかよと思って引いてみたら大きい。何とか逃がさないように釣り上げる。今シーズン初めてにしては大出来である(25cm位)。去年はクチボソ?で終わってしまったからね。たき火は湿っていてイマイチだった



上の大滝

が何とかご飯を炊くことはできた。

翌日、ほぼ空荷で右俣を遡行。やっぱり魚止めだったらしく、この先に魚影は見えない。ナメもたまにあったりして楽しく遡行。途中右から沢が

入る。ここを詰めていくと 上の登山道にエスケープ できるようだ。

さらに進むと全く予期 していなかった程のでかい滝が。ここは右の踏み跡を詰めていくと上の稜線 付近に出る。ここまでは登 山道から来れるのか足跡あり。反対側に難なく降り て沢に戻る。時折水晶もど きが落ちている。しばらく



水晶まであと何百年?



大滝の上から

登って行くと白ザレになって登りにくくなって来たので左の樹林帯に逃げる。大した藪はなく登山道に到着。登山道には踏跡があり、赤い境界標が所々に見えるので間違いようがない。2140m付近まで登山道を下降し、そこから左に樹林帯を下って行く。正面に未踏の(?)岩峰があるあたりから下降。途中トラロープがある滝があったが、なんてことなく下れる。途中廃屋らしきものもある。なかなか水は出てこないが沢筋を降りていく。二股近くになって水量が多い支流が合流。その先をしばらく下降するとテントが見えた。

今日も貸し切りの模様。アブもいないので魚止めに2匹目のドジョウを釣りに行き、昨日よりちょっと小ぶりなイワナをゲットする。昼寝をしてたき火をして、今日は木が乾燥したらしく、よく燃える。まったり。



鹿の骨

翌日。同下降。大滝は ザイルを出して楠井さん に先いを出てもらう。 その辺から先は左右に踏 跡がある。そんなに沢 を釣り師も入ってこの いっのがが、何のいっの踏 み跡なんだろうか。



### 西穂丸山 (2,452m) @ 北アルプス 子連れハイク No.45

### 市瀬 江利子

#### 日時: 2017/08/15

メンバー:初鹿、市瀬、他3

コースタイム:

8/15:西穂ロープウェイ第二駐車場(10:00)-しらかば平駅 (10:30)=西穂高口(11:00-11:30)-西穂山荘 (13:20) 8/16:西穂山荘(8:45)-西穂丸山(9:15)-西穂山荘(9:45-10:15)-西穂高口(11:15) = しらかば平駅(12:00)

今回は念願の北アルプス一泊コースに行ってきました。今年は北アルプスに泊まりで行きたいと思っていたのですが、なかなか、子供を連れて登れる場所を見つけるのは難しく、色々と悩んだ末、西穂山荘から独標までのルートで行ってみることにしました。

前日には麓の合掌の森中尾キャンプ場に泊まってキャンプをすることにしたので、山の準備、キャンプの準備と大変です。天気もかなり怪しく、ほぼ雨天間違いないと思われる中の山行で、正直、この天気で行って何かあったらどうしようという心配があり、かなり迷いましたが、ここを逃すと今年目標にしていた、山中での一泊キャンプはおそらく無理そうなので、とりあえず、山小屋もあるし、引き返すことも出きるしと、気持ちを上げて、行ってみることにしました。

車を第一駐車場に置くことを希望したのですが、 登山者は第二駐車場からとのことで第二駐車場へ 回されます。駐車代金は一泊600円です。登山者 専用駐車場からしらかば平駅までは、結構距離が あり、重い荷物と登りで一汗かいてしまいます。お 盆の真只中にも関わらず、この所の悪天のせいか、



ロープウェイは並ぶことなく乗車でき、あっという間に西穂高口へ到着。予想通り、雨ですが、思っていたよりも小雨で、雨具を着て出発です。

コースタイムは一時間半で、下の方は森が続きます。最後の方は急登になり、いったんなだらかになったかなと思ったあと、またまた急な登りです。



雨具を着て出発!

突然眠ってしまいます

子供はあまり音を上げることもなく、私よりも身軽に登って行き、重荷は久しぶりの私は、汗をかきかき、追っていく感じです。ここの登りを、ちゃんと登れるか、かなり心配していたのに、なんとコースタイム通りに登れてしまいました。途中、落ちている葉っぱや木の実や虫など、いろいろと材料を見つけて楽しんでいて、家にいるとYoutube ばかり見ていたりすることを思うと、やっぱり、大変でも連れてくるべきだなと思いました。

さて、お盆の時期、13時には満杯となるという、テントサイトは、やはり雨のせいか、2-3張りしか張

っておらず、まずは一安心。雨の中、山小屋の荷物置き場とテン場を行き来し、テントを張って、中に全員が潜り込み、やっと一息つきます。結構雨は激しく降っていましたが、テントに入ってしまえばそれも楽しく、ここからは長い宴会モードに突入です。

途中、子供が突然眠ってしまい、あまり水分を取っていなかったので、高山病かと思い、かなり心配しましたが、ただ単に疲れて眠たかったみたいで、起きたら元気になっていました。

翌日は、やはり雨の中、撤収作業開始です。8時までに撤収したあと、独標までは無理としても、せ



西穂丸山到着!

めて丸山まで行くか行かないか迷いましたが、たまに雲の隙間に青空を見たりして、行かない踏ん切りもつかず、とりあえず、少し行ってみることに。最初は大きな岩の間を登って行く急登でしたが、子供は全身を使って登り、かえって楽しんでいました。丸山山頂はやはりガスの中。結局、最後までガスの中、北アルプスの壮大な景色を見ることが出来なかったのが、残念でしたが、子供はそんなことは関係なく、結構楽しんでいました。北アルプスの絶景はまた次の機会に。帰りは、やはりコースタイムで下山。何もなく、無事に下山できて、心底ほっとしました。

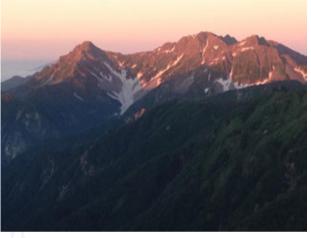


キャンプでの食事

### 2017 夏休み 南北アルプス縦走

### 北原





朝焼けの穂高連峰

夕焼けの槍

#### 其の一 北アルプス:表銀座縦走



8月1日(火) 6:10 中房温泉登山口駐車場 7:00 発~8:00 第二ベンチ~9:50 合戦小屋 (スイカ) 10:05 発~ 10:10 燕山荘 11:30 発~ 14:40 大天井荘

8月2日(水) 4:40 ご来光~6:10 大天荘発~6:45 大天井ヒュッテ 6:55 発 ~ 9:30 西岳ヒュッテ着 9:50 発~ 10:50 水俣乗越 11:10 発~ 13:20 ヒュッ テ大槍 13:50 発~ 14:50 槍ヶ岳山荘

8月3日(木) 7:10 槍ヶ岳山荘発~8:00 坊主岩小屋8:10 発~9:00 大岩 9:10 発~ 10:30 槍沢ロッジ 10:45 発~ 12:10 横尾 12:20 発~ 13:10 徳澤 園 13:50 発~ 14:35 明神館 14:45 発~ 15:20 小梨平着

8月4日(金) 7:50 上高地バスターミナル発~ 8:55 新島々駅 9:20 発~ 9:50 松本駅 9:54 松本駅発~10:25 穂高駅 10:55 発(中房温泉行き)~11:50 中房温泉登山口

■メンバー: 北原、他1名



燕山荘あたりのコマクサ

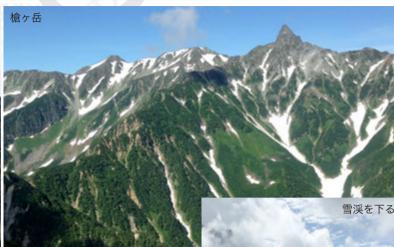
2017年夏。北アルプス縦走、定番の表銀座ルー ト。天候が不安定でなかなか出発のタイミングが つかめなかったが、8月1日、中房温泉から合戦 尾根を登ると稜線はコマクサが満開。大天井岳で

は結局雨の中でテントを張る。でも一瞬、夕焼け の中に槍ヶ岳が姿を見せる。

8月2日朝、快晴。大天井岳から昨日の分も展







望を楽しんだ。東鎌尾根から槍ヶ岳を目指す表銀座ルート。日本を代表する縦走路だけあって、変化に富んでいる。東鎌尾根にもちゃんと雷鳥の親子が潜んでいた。今日2日にこのルートを登ったのは5パーティーほどだった。

8月3日、槍ヶ岳に差し込む幻想のような朝日。そして雲海に臨む 渚のような槍沢。そこを延々と下り上高地へ。小梨平のキャンプ場は 穴場で前穂奥穂の吊り尾根を眺めながら快適に過ごせる。

8月4日、上高地から中房温泉まで、公共交通機関を使っての車の 回収に4時間かかった。



渚のような槍沢





其の二 南アルプス: 荒川三山・赤石岳



吊り橋を渡る

#### 帰宅

■メンバー: 北原、山里

■日程

8月11日(金): 3:00 山里宅そばのコンビニ〜(中央道、東富士道路経由、御殿場)〜新静岡 ic6:00〜7:50 畑薙8:30〜(東海フォレストバス)〜9:40 椹島9:55発〜16:15 千枚小屋 bp

8月12日(土):5:00起床6:30発~7:30千枚岳~8:50悪沢岳9:05~10:15中岳避難小屋10:30~11:40荒川小屋bp

8月13日(日): 3:30起床4:45発~5:20大聖寺平5:30~6:30小赤石岳

6:40 ~ 7:10 赤石岳 7:40 ~ 8:00 分岐 8:05 ~ 9:55 赤石小屋 10:20 ~ 11:55p2100m12:10 ~ 14:05 椹島

8月14日(月):5:00 起床~6:15 椹島発~(東海フォレストバス)~7:20 畑薙7:30~9:30 新静岡ic~10:00 由比pa(ブランチ釜揚げしらす丼)~11:40 川崎ic~12:50 山里宅~13:15



ブロッケン現象

くになって、ひたすらのぼる。表銀座に続きまたまた雨の中、テントを張った。

8月11日山の日は南アルプスへ。椹島から千枚小屋へ、汗だ

8月12日、千枚小屋から荒川三山縦走へ。朝は富士山が顔を出していたが、小屋の親父の話のとおり、良いのは朝だけで、ガ



光のシンフォニー

スの上がりが早く、稜線上では展望は望めない。荒川東岳は別名、悪沢岳は標高が3140mあり、南アルプス南部の最高峰。荒川小屋には昼前に着いたが、赤石岳避難小屋ではテントは張れないので、ここでテン



テントモレ

泊し、まったりする。でも午後2時すぎからまた雨になる。

8月13日、荒川小屋から大聖寺平を経て赤石岳へ向かう。前衛峰の小赤石岳直下で、朝日が差し込み、ブロッケン現象が現れる。やっと赤石岳が姿を見せ、振り返ると縦走してきた荒川三山が見えた。赤石岳山頂にて、30分間の光のシンフォニーのような時を過ごす。それは始まった時と同様に、突然幕を閉じた。それから6時間、東尾根を標高差2100m下り、椹島にてお世話になったテントを乾かした。シメは釜揚げしらす丼@由比PA。



釜揚げシラス丼

#### 番外 乾徳山旗立岩クライミング

#### 旗立岩中央稜



水野・小堀・初鹿パーティ



■9月3日(日)

■メンバー:佐藤、小堀、初鹿、 水野、桜井、北原

久しぶりの晴れの日曜日に、久しぶりのクライミング。乾徳山の岩場は、難しいところではないが、高 度感もあって気持ちいい。山岳会の仲間 6 人で楽しんだ。



### 平成 29 年前半のフリークライミング 報告

### 佐藤 正俊

山域:大仁城山 13 回、聖人岩 7 回、天王岩 5 回、有笠山 7 回、小川山 2 回、 甲府幕 1 回



城山 ジゴロ

昨年から、ほぼ毎週フリークライミングの岩場 通いを続けています。

1月はイレブンルート3本をレッドポイントしましたが、2~3月はスランプ状態、今から思えば、トレーニング疲れが取れずまた体重もオーバー気味かも。

その後、八月革命のレッドポイントから減量して好調を持続し、6月までに16本のイレブンルートを登りましたが、減量に伴うスタミナ不足の不安もあります。

平成29年は毎月3本、年間36本のイレブンルート完登が目標ですが、老い先も長くないので、登れる機会を大切にしようと思います。

#### 1. 大仁城山(29年1月~3月、計13回)

城山は年末から計 13 回。去年はジゴロ 11b/c、 心の愛 11b を登り、西本ちゃん、高ピーさんグル ープとも度々遭遇しました。

#### ① 1月12日(木)(城山、8回目)

Y越さんと二人で贅沢な平日クライミング。アップ後「こんにちはマコロン (11b★★)」にヌン懸けで取付くと、何とマスターレッドポイント

(通算3便)。

辛めアンダーホールドから2~3ピン目クリップが激悪のミジカシイ系ですが、意外に好ルートです。

縁起がイイので、ヌンチャクをお借りして「ジャンバラヤ (11c  $\star \star \star$ )」にもアタック。1本目は核心でテンションし、2本目でレッドポイント (通算 6 便)。

5~6ピン目の4~5手のムーブが厳しくクリップも核心ですが、ジゴロよりルートは読みやすいかも。日頃のトレーニングの成果と気を良くして帰宅しました。

#### ②1月28日(土)(城山、10回目)

今回は O ちゃんのマコロン挑戦にお付き合い。 午前中はダメダメだった O ちゃんも見事、マコロンを完登。午後はフリクションもバッチリでした。

自分はオーバードライブ後「チャンディラサ (11a)」をマスターで完登 (通算2便)。

出だしマントリングと白いガリーへの乗越しが核心で、見た目より登り易いルートです。帰路、セントーサのヒレカツ(124円)が美味でした。

#### ③3月11日~25日(城山、11~13回)

その後、オーバードライブを目標に延3日通いましたが、ワンテンの山を築き(通算9便ダメ)、オーバードライブは今後の宿題となりました。

#### 2. 聖人岩(29年1月~4月、計7回)

聖人岩には「黒山賛歌 (11b★★★)」のアタックで計5回通いましたが、ムーブ解析後も完登



二子山 悪魔のエチュード

出来ず、通算14便、全滅(涙)。

4月は「モモンガキッド (11b ★★)」に計 2 回 挑みましたが、こちらも 5 便、全滅 (泣)。

一方、相変わらず勝負強い O ちゃんは、黒山賛歌と貂が見ていたを完登し、これを機に天王岩に転進です。 ウ~ン、残念、無念、涙、涙!!

#### 3. 天王岩 (29年4月~5月、計5回)

天王岩には計5回。ようやく調子も上向き、イレブンルートも4本を完登です。ここでも西本ちゃんグループによく遭遇しました。

#### ① 4月30日(日)(天王岩、2回目)

前回ムーブ解決した「八月革命 (11b  $\star \star \star$ )」 をどうしても登りたくて 1 週間で 4 キロ減量して、決意のアタック。

1本目でヌン懸けし2~3ピン目のムーブチェック。核心のデッドポイントは意外と得意系。満を持して2便目でレッドポイント(通算5便)。

八月革命は、出だしがバランシーで、2ピン目 以降の半円ホールドから、悪いホールドとスタン スに耐え厳しい3ピン目をクリップし、核心のデッドポイント。その後もラストまで頑張りが必要 ですが、通好みの好ルートです。

やっと長いトンネルを抜けた気がしました。

#### ② 5月3日(水)(天王岩、3回目)

今日は、前回 1 便だけお触りした「ニルバーナ  $(11b \star \star \star \star)$ 」に O ちゃんと挑戦。

1本目のヌン懸けでは好印象。満を持した積りの2本目はラストで痛恨のゼットクリップ落ち。情けなさで涙も出ない。この間に〇ちゃんは見事に完登。先を越された・・・

後が無い背水の陣で臨んだ3本目は吠えまくりの末、何とかレッドポイント(通算4便)。ア ~ア、本当に良かった。

このルートは、ドッ被りスタートから左上へ厳しいトラバース、5ピン目周辺と最後のホールド

が激カチ核心。でも本当に良いルートです。

#### ③5月4日(木)(天王岩、4回目)

今日は3年越しの宿題になっている「ドロボー カササギ (11a★★★)」。

クラックジョイの下降でクイックドローをセットし、核心ムーブをチェックした積りだったのに、1本目はトラバースの左足が止まらずに墜落。 左足を踏出す際の右足位置を修正して2本目でレッドポイント(通算9便)。

このルートは、4ピン目の棚からイキナリ難しくなり、2本の縦ホールドと不安定な足を決めて5ピン目をクリップし、右上カンテに抜ける人気ルートです。0ちゃんからは「シャウトし過ぎで恥ずかしい」とお?りを受けましたが、自分的には結果オーライかな。

当のOちゃんは八月革命のデッドポイントが 決まらず、繰り返し、繰り返しアタックしてました。

#### ④5月7日(日)(天王岩、5回目)

ゴールデンウイークの最後も天王岩で、今回のテーマは遂に「パワーシフト (11b/c)」。しか~しこいつは超難しい。2ピン目以降の激カチムーブが厳しすぎ。一応3便出しましたが、一旦凍結の予感です。

そこでイレブンルート確保のため「カイーノ (11a)」にマスターで挑戦。1~2ピン目が高く、恐ろし過ぎでワンテンション。2ピン目のクイックドローをセットして2便目を開始すると、後はマスターでレッドポイント。

1~2ピン目までがホールド、スタンスとも非常に厳しい核心ムーブ。常にグランドフォールの



危険があるため、多分不人気ですが、内容は結構 良い、不遇ルートです。

○ ちゃんはこの日も八月革命のデッドポイントが決まらず、相当悔しそうでした。

#### 4. 有笠山(29年5月~6月、計5回)

今年初めて訪れた有笠山では、毎回、イレブン ルート完登の快進撃が続いています。

有笠山はホントに良い所、ヨイヨイ~。

#### ① 5月21日(日)(有笠山、1回目)

手始めは0ちゃんのガイドで東口、フェアリーロック。

噂通り多少の染み出しがあり、尖った岩で手は 激痛、でも30℃の猛暑の中、砂ぼこりだらけで フリクションは抜群。

アップ後、O ちゃん敗退を引き継ぎ「夢を見る頃  $(11b \bigstar \star)$ 」に取付きます。

 $1 \sim 3$  ピン目まであっさり抜けると、核心の右手穴ホールドに手が届いちゃった。4 ピン目のクイックドローセットに手間取りますが、最後は余裕のオンサイト(正確には $1 \sim 3$  ピンまでフラッシュ)。

夢を見る頃は、出だしドッ被りのハング越えで、見えない右手穴ホールドと次のガバ取りまでが核心、全体的にクリップも難しい、かなりのパワームーブ系、ミジカシイ系ですが、人気ルートです。

お次は大盛況の「パスファインダー (11b/c ★ ★★)」で、クイックドローをお借りしてのアタック。またもオンサイトと思いきや、核心で左足



有笠山 大地賛唱

が抜けてバカ落ち。慎重に臨んだ2便目で見事レッドポイント。

パスファインダーは、出だし、中間部の悪いホールド、出口下の右手ジャミングと左足超ハイステップの3核心で、超人気ルートの理由も頷けました。

Oちゃんも苦労の末に夢を見る頃を完登し、二



人とも無事有笠デビューを果たしました。

#### ② 5月28日(日)(有笠山、2回目)

今回も東口、フェアリーロック。〇 ちゃんのパスファインダー挑戦の合間に、石門のイレブンルート、2本ゲットを狙います。

まず「大いなる山の日々 (11a ★★★)」。1便目のマスタートライで思惑通り核心を越えたものの、次の見えないガバ取りにしくじりバカ落ち。見えなかった右手ガバホールドを確認した後の2便目でレッドポイント。

さすがの三ツ星ルートで、4ピン目までの小ハング越えが核心ですが、その後のホールドも判りずらく、変化に富む好ルート。グレードはやや辛めです。

次は「モーテル有笠 (11c ★★)」。入念にルートファインディングをするものの、イマイチ良く 判らない。マスターで取付き、モーテルのチェックアウト後に少し迷いますが、結局、マスターオンサイト。噂通りの超お買い得。但し両手は血だらけでした。

O ちゃんも超頑張ってパスファインダーを完登し、今日も有意義な一日を終えました。

#### ③6月4日(日)(有笠山、3回目)

東口の課題を終え、今日から西口、サンダンス エリア。有名な夢の浮橋と大地賛唱にアタックで す。

何とももの悲しいネーミングの、友よさらば 10aでアップの後、「夢の浮橋 (11a ★★★)」に アタック。

登り易いの評判通り、長いルートで疲れながら

もマスターオンサイト。ドッ被りフェイスをガンガン登り、中間のルートが判りにくいものの、ジム的で気持ち良いルートです。

次はいよいよ超大物「大地賛唱 (11b ★★★)」。 クイックドローをお借りした 1 便目は出だし核 心を越えた処で右手が滑って痛恨フォール。ウーン、残念すぎ。濡れたホールドに丁寧にチョーク をまぶしてブラッシング。そして 2 便目でレッド ポイント。

このルートは、2 ピン目の縦ホールドを止めて 乗越す部分と、ラスト下のアンダーホールド処理 が核心で、見栄えも豪快なこの壁の看板ルートで す。

出だしとラストのアンダーホールドで相当苦戦していたOちゃんも、最後に集中力を発揮して見事、大地賛唱を完登。本当に勝負強い女です。こんなOちゃんは隣のPlease Jam Meをレッドポイントした女性の頑張りに、偉く感激してました。

#### ④ 6月10日(土)(有笠山、4回目)

サンダンスエリアが終わり、今日から西口、偏 屈岩。僅か3組で貸し切りです。

いきなりアタックで取付いた「掟破り(11a★★★)」は2ピン目の先で一か八かで飛び付くものの、ガバを取れずにバカ落ち。一息入れた2便目で慎重に、でも吠えまくって2ピン目を超え、その先はマスターでレッドポイント。

このルートは、見た目どおり2~3ピン目が核心でオンサイトは結構難しそう。右回りより左周りが簡単ですが、ルートはどちらも読みずらい印象です。

掟破りの下降でヌンチャクセットし、次は「低



#### 姿勢 (11b ★★★)」にチャレンジ。

1便目、3~4ピンのムーブが判らず1テンション。それ以降も6ピン目で2テンション。出だしの核心以降もホールドがかなり遠く、厳しいムーブの連続です。

慎重にレストポイントを想定し、2便目はシャウトしまくって何とか完登。3~4ピンの核心は極悪ホールドばかりで足も悪くムーブの組立てが難しい。中間の棚で永久レストが可能ですが、後半の7ピン目クリップも相当厳しい、好ルートでした。

O ちゃんも低姿勢には相当に手古摺り、この日は敗退。でも次回はきっと登れそう。

#### ⑤ 6月17日(土)(有笠山、5回目)

今日は O ちゃんの低姿勢、再挑戦にお付き合い。TWALL の I 嵐さん、O 塚さんペアとも遭遇です。I 嵐さんが不調なので聞いてみると、3 月に肺の手術で広背筋を切断し、外岩は久しぶりとの事。

取敢えず、朝一アップの積りで取付いた「棚からボタ落ち (11b★★)」は、何とそのままマスターオンサイト!!上の壁ではかなり吠えまくってしまいましたが、これで本日のノルマは達成。

棚ボタは、下部スラブは左周りで、上部の垂壁からが本番。6ピン目の上部壁の出だしのヌンチャクセットがスリル満点で痺れるほど厳しい。その上も激辛のカチホールドを微妙に繋げるムーブでルートも読みずらく、最後は左に抜けて終了点にクリップ。中々の好ルートでした。

最近、しぶとさを増した O ちゃんも、低姿勢に は散々苦しんでる様子。しかしながら最後は出だ しのトントン左手ムーブを決め、執念のレッドポ イント。近頃は決め処を逃さない風格すら感じられます。

帰路、沢渡温泉のよしのやで、美肌豆腐 (200円)、野菜の天ぷらと手打ち蕎麦 (800円) に舌鼓を打ち、完登を祝いました。

#### ⑥ 6月24日(土)(有笠山、6回目)

今週は西口経由で、南国エリア。お買い得との 噂のイレブンルート2本のゲットを狙い。

アップも兼ねて「予選落ち (11a/b)」を登り、 下部の回り込みで若干戸惑い、最後の抜け口の見 えないホールドをうまく掴んで何とかマスター でオンサイト!!

下降中に右隣の「白と黒 (11b★)」にクイックドローをセット。「白と黒」は3ピン目のハングの乗越しムーブのマッチが予想通りに決まり、抜け口の小核心も無難にこなして、本日、2本目のオンサイト!!見た目よりは登り易い好ルートでした。

最後に登った「足を開いていけいけ (10d ★)」 も中々の好ルート。

Oちゃんも出だしで苦戦した予選落ちを2便で レッドポイントし、白と黒は見事にオンサイト。

帰路は「よしのや」の胡桃ゴマたれ手打ちそばで、完登祝い。先週とは別人が打ったような、冷水でキリっと締めた、とっても美味しいお蕎麦でした。

#### ⑦7月9日(日)(有笠山、7回目)

夏前の最後は有笠山のちっぽけ岩ツアー。うんと暑くてもう登れないかと思っていたけど、ちっぽけ岩はアプローチも意外と分かり易く、結構涼



しく良い所、下地も良好。因みに、ちっぽけ岩は 東西南北の全ての面が登れる、南北が狭く、東西 が長い、まるでお豆腐を立てた様な巨大な岩塊。 岩場に辿り着くと、S原さん、A田さんペアと2 組で貸切り。

アップがてら取付いた、被った北面の「国体の星( $10c \bigstar$ )」は 1 便目でカンテ側の右手が抜けて痛恨の落(涙)。 2 便目でレッドしたものの、噂通りグレードは辛目。

いよいよ看板ルート、南面の「TCE(11c ★★ ★)」にアタック。と行きたい所だったけど、離 陸が手も足も出ず隣のルートを登ってクイック ドローをセットする始末。2便目は何とかトップ アウトするも、ムーブは皆目見当がつかず。3便 目でようやく離陸の左足ヒールと、核心の4ピン 目の縦ホールド処理の目途が立つ。今日のところ はこの位にしておこうと、負け惜しみを言いつつ 帰路に就きました。

なお軽い熱中症で体調を崩したのか、O ちゃんは帰路の車中でとても苦しそう。その後、過換気症候群?という事で戦線離脱中、とても心配です。一刻も早い回復を願ってます。

#### 5. 小川山(29年7月~9月、計2回)

# ① 7月 15日(土) ~17日(月)(小川山、1回目)

○ ちゃんがリタイヤ中なので、今回は救助隊メンバー 13 名で小川山へ。連休渋滞に巻き込まれ、初日は昼過ぎに廻り目平に到着。テント設営後、スラブ状岸壁へ。先客も万来で適当に登り、ようやく長年宿題の「オーウェンに祈りを(10c)」をレッドポイント。

夜はT村さん持参の厚岸産「特大、殻付き牡蠣」の超美味に大感激でした。

翌日は、マラ岩。レギュラーにヌン懸けすると、 同行者のF井女子が2便でレッドポイントする。 やるものだな~。彼女はイレギュラーも登れそう な感じでした。

最終日は二手に分かれ、我々はストリームサイドへ。「鵯漏斗 (11a★)」を2便でレッドポイントし、「雀の豌豆 (11b★★)」を再登。今日は調子が良さそうなので、日本一易しいトウェルブとの噂の高い「アカマンマ (12a)」に取付く。オンサイトは逃すものの2便でレッドポイント。確かに超お買い得。体感 11b 程度でしょうか。

ともあれ初 12a 完登に気を良くして帰路に就きました。

#### ②月9日(土)~10日(日)(小川山、2回目)

今回も救助隊メンバーとT真里ちゃんの総勢12名で小川山へ。

大勢なので前回に引き続き、昼過ぎにスラブ状 岸壁に。すると誰もいないで貸切り状態。前回イ レブンゲットのF井女子の希望で「水曜日のシン デレラ(11a★★)」へ。出だしピンが遠く危険 なので、トラバース点までヌンチャクセットの大 サービス。するとF井女子は1便目に自力トップ アウトし、2便目でレッドポイント。超お見事で した。私はヌンチャク回収便で、ノーテンション で登れてホッと一息。

2日目は満を持しての「ブンブン (11b ★★)」 アタック。ところが1年ぶりのためかムーブを全 く忘れて3便、全滅(涙)。またまた、1 から出 直しです、、、



#### 6. 甲府幕岩 (29年8月、計1回)

#### ① 8月27日(日)(甲府幕岩、1回目)

今日はT-Wallのジム仲間4名で初の甲府幕岩へ。

HAIVE でアップの後、黒メガネの A 川さんと、「ブラッキー (11b ★★★)」にアタック。ヌン掛けの1便目は迷える子羊の様に5ツのクイックドローをセットするだけ。2便目でムーブ解析完了と勇んで3便目アタックをするものの、4p目の核心クリップが出来ずに突っ込み大フォール!!

4便目は慎重にムーブとクリップポイントを調整し、吠えまくって何とかレッドポイント。

これでようやく今年のイレブンルート、21 本 目をゲットしました。

その後は、パートナー探しに苦心し、週末のジムトレが続く毎日です。

つづく・・・。

ー木更津トライアスロン 2017 -

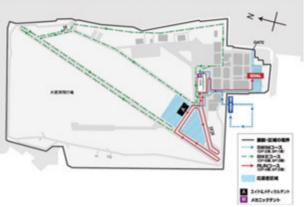
初鹿 裕康



SWIM前

今年はなかなか日程の調整がつかず、調整しているうちに締め切りになってしまったりしたレースもあったり。結局日帰りで行けるかどうかもわからぬまま、木更津トライアスロンに申し込む。日本最大級というあたりだけあり、オリンピックディスタンスで1300人強の参加である。結構バタバタしている大会で、事前受付を急遽1週間前に恵比寿でやってくれたり、両国発のサイクルトレインを臨時で出してくれたりしたので、始発電車で日帰りが可能になった。

場所は木更津の自衛隊の駐屯地。BIKE は飛行場の滑走路だ。人数が多いのでウェーブが5つに分かれている。ちなみに年齢順なので女子と一緒に最終ウェーブである。10:20スタート。正方形を時計回りで2周。水に浮いてのフローティングスタートも、最近辛くなく、海に浮いたままスタートを待つ。左端から出て斜めに最初の角を目指すが、ゴーグルの調子がいまいち。何とか直しなが



ら意外と

バトルのストレスもなく順調に泳げる。途中泳いでいたら手が人のおなかに当たる。前のウェーブの選手が海に浮かんで上を向いて休んでいたらしい。一瞬死体かと思った(^\_^;)。正方形なので一辺につき175m泳げば良いので結構近く感じる。一般的なコースの三角形だと250mだから意外と長い。SWIMアップが自分の時計では30分。まぁ予定通りかな。

ここから BIKE のトランジットまでが長く、しかもはだしだとアスファルトが熱い。前のウェーブでサンダル履いて走っていた人がいた訳だ。サンダル置き場もあったし(^^♪。ちょっと失敗。滑走路なのでバイクボトル以外持ち込み禁止。とりあえずゼリー飲料を一気に補給して BIKE コースへ。

横幅が広いのでこれまたストレスなく走れる。 滑走路を外すとあまり路面はよくないが、平均30 km位で走れたが、結果を見る限りもっと早く走ら ないとだめだな。

そして RUN4 周。一部に照り返しのきついところがあるが、給水も 2 か所あってまぁまぁか。ほとんどの選手を抜かして走れるので、速いつもりでいたが 2 周終わったところで時計を見ると 23 分もかかっていた。ちょっと遅くないか。気合を入れて残り 2 周、同年代の選手に追いつくがなか

木更津トライアスロン 2017

初鹿 裕康









なか速い。私より1周速くコースからゴールに向かて走って行ってしまった。最後の1周を走り終え、ゴールに向かって500m。同伴ゴールの相手が休憩中(?)でいなかったので一人ぼっちで、思いっきり走って前の2人を抜きゴールした。

やっぱり RUN をもう少し早く走りたい。でも同年代の1位でも48分台だった。全体の RUN トップでも37分台だからそんなもんなのか・・・。50分もかかっているけど。RUN は年代別なら5番なんだよね。BIKE は平坦で走りやすいから本当はもっと早く漕がないとだめだね。平均32km は欲しい。年代別トップとの差はほぼ BIKE の差で10分。頑張ればなんとかなるかな??(^-)-☆

8/27 木更津トライアスロン 2017 参加 1345 名

SWIM (1.5Km) 0:30:46 313 位

BIKE (40Km) 1:21:37 503 位 1:52:23 377 位

RUN (10Km) 0:50:37 215 位

総合 (51.5Km) 2:43:00 264 位

55-59 男子 10/60 位



### 復活!(しなくていい?)なほみさんのいつまでやってんだクライミング日記。

一登ったり登らなんだり体調悪かったり悪かったり劣化が止まりませんが何か? -

水野 奈保美



瑞牆山@まったんへき

大台ケ原@堂倉沢

みんなのメット

#### 7月ぶん

#### $7/1 \cdot 2$

沢→はつ別荘2泊→乙女高原 最初は魚野川 (群馬の) 天気が悪いのではつ別荘から行けるところに行くというこ とで毎晩呑んだくれた3日間

#### 7/8 水根沢@プリムラ

はじめて行ったが楽しかった。水が少ないので楽しさ半 減なんだそうだ(単独の人談)

#### 7/15~17 7月うみのひれんきゅう

15:おがわ@クマさくら

レイバック○ クレジー×2 夜:ふじもと

16:おがわ@クマさくら+ミスターO塚Y介様

あにいわ もみじ○ もりみどりTR×1 まみTR×2 夜:肉買って杉様サイトへおじゃましてえんかい。

のりたまオネータマとのりよおねーたまとお友達に。

17:まったん@クマさくら

調和1P○ T&TTR○!いえい

ものすごく疲れていたのでこの2本でいっぱいいっぱい

#### 7/23 小坂志川上流@プリムラ

武蔵五日市から数馬行きで。水少なめ長めくだりも長め しょぼい沢ツメで山椒の実を採取。下り15分で夕立にあい 全身びしょ濡れの状態でバス~電車で冷え切った。

#### 7/30 甲府幕岩@クマさくら

雨予報天気わるしでも行ってみた甲府幕2台車あり、5人 先客様有り

ピリカにロープを張ってもらい2回のぼる→フィットんちっと@分校でねこをいじって幸せ→渋滞25キロだったので思い切って秋山街道@初自力。なんとか走り切れました。やった~~(説明すると、クマ嬢に家まで迎えに来てもらい、そこから私が運転している:車の運転ができないと思っている人がいるようなので念のため^^ちなみにさくらは犬(イタグレ))

#### 8月

#### 4~11 贅沢な紀州大台ケ原の旅 ダイジェスト

楽しいこと・おもしろいこといっぱいありすぎ・・・

其の一(生活編):台風5号と一緒に紀州入りして、やり 過ごす。ステキなガンバローにずっと滞在。

其の二 (ハイキング):翌日は近くの山にハイキングや滝見をし、翌日にようやく大台ケ原へ。しかし山が深く谷が深く広大なまさに「やまの波」の間の道路をどんどん高度をあげて行く。まだ曇りがちで朝の駐車場は薄ら寒かった・・・

其の三(入渓?):大台ケ原は観光地。遊歩道的な道で 日出山にいったん登ってから尾根をくだってくだってくだっ てくだって下って下って管って苦だってクダってから入渓。 だったのだが、台風のせいで増水、お弁当持ってやってき

復活!(しなくていい?)なほみさんのいつまでやってんだクライミング日記。

登ったり登らなんだり体調悪かったり悪かったり劣化が止まりませんが何か?

水野 奈保美



小川山@完全なる酒乱

た発電所の見回りに来た電力会社のおじさんたちが「今日 は普段の水量の5倍」と言っていたらしく、入渓地点の大滝 の水量とかみて引き返す(!!) 登り返して尾根の途中を構 切ってる林道の程よいところで幕。焚き火して宴会~~~ あ~歩いたわあ。

其の四(入溪):結局当初の沢の支流へ入溪。ちょっと 気温が低めだったので積極的に泳がなかったにゃー(つ づく) つうか紀州遠征も2度めだし去年の新鮮さがすこし 薄れてしまったせいもあるのか、沢以外の出来事のほうが 印象が強かった。(つづく:来年もね)

#### 8/13 甲府幕岩・兜岩からの転進

@こーちゃん・水野(私ではない)

天気が悪いのに行ってみる。水野 (私ではない)のお寝 坊で石和温泉駅で拾うことにしたので近いところで兜岩。 はじめてだったが、キリが立ち込め檜の林の切り株がいい 具合に檜風呂の香りを発していた。岩は濡れていたのでひ と回りして戻ろうとしたら3人のクライマーが上がってきた。 よくみたら南裏健康先生ご一行だった。「こんな日に来る 人がいると思わなかった」「こっちもな」。甲府幕ではやは り何組かクライマーがいたら、一部知り合いで午前中降っ てましたという。乾いてきたので少し登っておわり。

#### 8/20 小川@こーちゃん・ツヨツヨ姉様

砦前衛壁 酒乱×2

砦前衛壁はステキなクラックとステキなフェースを同時 に楽しめる好エリアで、同行のお二人は難しい花形ルート

狙い。同じく花形ルート@クラックの「完全なる酒乱」てい うと~~ってもステキなワイドクラックのちょうどお隣なの で、気軽に「ロープはってあげるよ」てことになり、今日も またTRなり。つうか恐ろしくてリードちょっと無理だし(ま たかよ・・・w) 1回目はなんかすんなり入れて (入るのが核 心) 中・上部のはまりすぎて身体が動かなくなるところで苦 労した。この日はね、朝からすごく気持ちが悪くて、2人の アプローチに速さについていけず、しかも途中でお腹が壊 れてしばらく動けなかったりして、この1本だけでもうぐった り。お強いお二人に「1本でいいの?もっと登ったら?優し いフェースもあるし、ってマジでお腹痛いんですけど・・・2 本出したけど今度はまったく入れずちからつきトップアウト すらできず。「もう1回登んなよ、登り足りないでしょ?」うる さいっつ調子悪いんだってば!!!www酒乱なんて1本で ぐったりダヨ!・・・本当にこの日から調子が悪くなり、3日 も休んじゃいました。(ウイルス性の胃腸炎だったもよう)

#### ···・てなわけでしばらくお腹のちょうしがわるくおやすみ

#### 9/4 岩トレつうかプチほんちゃん @ 乾徳山

岩は3ピッチ(うち歩き1.5P

久々にダブルロープでリードしたらねえロープ引くの重 い~~うわあ疲れる!!あれえそんなに登ってなかったけ? そりゅあ最近はすっかりTRパーだけど、フリークライマー は基本はロアーダウンだからね(と言い訳してみる)それよ り乾徳山の普通の道の岩場のスタンスが磨かれてつるっ つるで滑ること! そっちのほうがスゲー (竹中直人風に言 う) でした。

### 山行一覧(一) 2017年6月9日~7月17日

No.	山行日	山域	ルート	参加者	区分
4318	6/9	上州	掃部ヶ岳	岡	写真山行
4319	6/10	VI	有笠山	小田 佐藤	フリー
4320	6/11	中央沿線	八重山トレイルレース	初鹿 水野	トレラン
4321	6/11	足尾	松木川 大ナギ沢	平 桜井	沢
4322	6/11	中央沿線	滝子山	北原他1	ハイク
4323	6/16 ~ 19	北海道		平他1	
	a	6/17	利尻岳	7	ハイク
		6/19	礼文岳		ハイク
4324	6/17		有笠山	小田 佐藤	フリー
4325	6/17	中央沿線	大菩薩	北原他1	ハイク
4326	6/17	奥多摩	赤ボッコ	初鹿	トレラン
4327	6/17 • 18	奥秩父	瑞牆山十一面末端壁	水野 他 1	フリー
4328	6/18	中央沿線	大菩薩 尾名手川	初鹿 北原 桜井	沢
4329	6/18		高ボッチ高原	岡	写真山行
	6/19	北ア	焼岳 りんどう平	岡	写真山行
	6/20		菅平 米子滝	岡	写真山行
4330	6/24		有笠山	小田 佐藤	フリー
4331	6/24	奥秩父	瑞牆山十一面末端壁	水野 他 1	フリー
4332	6/24	奥多摩	川苔山	北原他1	ハイク
4333	6/25	高尾・道志	城山~高尾山	初鹿	トレラン
4334	7/2	奥多摩	倉沢谷長尾谷	平 桜井	沢
4335	7/8	奥多摩	水根沢	小堀 初鹿 水野 他 2	沢
4336	7/9	奥多摩	小坂志川 湯葉の沢	平他2	沢
4337	7/15 ~ 17	奥秩父	小川山	水野	フリー
4338	7/15 ~ 17	奥秩父	荒川伝丈沢	初鹿 他 1	沢
4339	7/16 • 17	奥秩父	小川山	佐藤	フリー
4340	7/16 • 17	八ヶ岳	編笠山	平	ハイク

### 山行一覧(二) 2017年7月22日~9月9日

No.	山行日	山域	ルート	参加者	区分
4341	7/22	奥多摩	小坂志川上流	初鹿 水野 北原 他 1	沢
4342	7/29	奥多摩	赤ボッコ	初鹿	トレラン
4343	7/30	奥秩父	甲府幕岩	水野	フリー
4344	8/1 ~ 4	北ア	中房温泉~表銀座~槍ヶ岳	北原他1	縦走
4345	8/6 ~ 11	台高	大台ケ原	小堀 初鹿 水野 他 2	
		8/8	両仏山	45.7	ハイク
		8/9 • 10	堂倉沢右俣		沢
4346	8/11 ~ 14	南ア	荒川三山~赤石岳	山里 北原	縦走
4347	8/15 • 16	北ア	西穂丸山	初鹿 市瀬	縦走
4348	8/19	高尾・道志	日影~高尾山	初鹿	トレラン
4349	8/26	高尾・道志	陣馬~小仏~高尾	北原他1	トレラン
4350	9/3	奥秩父	乾徳山旗立岩	小堀 初鹿 水野 北原 桜井 佐藤	バリ
4351	9/9	奥多摩	赤ボッコ	初鹿	トレラン

### 編集後記ですの



山を長く登っているといつしか真っ暗な山の中でも、ヘッポンも点けないで歩けるくらいに道が見えるようになるらしい。周川の皆も普通に見えると思っていたが、そうではないようだ。これが経験値というものなのだろう。テテテテ・テッテッテー。

経験は積むに限30(H)

久々に(見かねて)会報制作に復帰しましたよ!おかえりなさ~いはあと)おう、ただいま。面倒くいけどやっぱり好きでないとでいなく ケリムラが) つかず、はなれずでなんか長くいます。最ティーが登れないので、アリム思います(失礼だな;M野) ナなんか登山時報風になってしまった^^

